

事例検討から考える**豊橋**の家族看護（2018年度）

病院と地域の連携を深め、看護の質向上を目指そう

- **渡辺式家族アセスメント/支援モデル**を使い事例検討会をしてきました。事例検討に明確な正解はないのですが、対象のおかれている立場に近づき、看護にいかすよう努めることで、対象にニーズにあった支援となることと思います。今後は事例検討をふまえた看護の実際、そして、研究的な取り組みに進めることができると良いなと考えています。
- また、地域包括ケアシステムを推進していく上で、多職種連携は欠かせません。事例検討を通して、互いを良く知り、**豊橋市内看護職の連携**を進めていきましょう。**家族看護の事例検討とトピックス**についての**意見交換**です。

日程

2018年度開催日（土曜日）

時間：13時30分～16時30分

場所：豊橋創造大学D11教室

参加費：100円（お茶とお菓子を準備します）

開催日	テーマ
7月21日	事例：地域包括支援センターから
	トピックス：服薬管理
11月17日	事例：未定
	トピックス：未定
2月23日	事例：未定
	トピックス：未定

運営委員

豊橋市民病院：萩原有子

豊橋市医師会訪問看護ステーション：小椋泰子

さわらび地域包括支援センター：松下美津枝

豊橋創造大学保健医療学部看護学科：蒔田寛子

連絡先：050-2017-2291（蒔田研究室）